

観峰館オンライン講座

漢文の読みかた
観峰作品を例に

書作品には、よく漢文が揮毫されます。

みなさんは、それらに書かれている漢文の意味を意識したことがありますでしょうか？

このオンライン講座では、観峰作品に揮毫されている漢文を一例に、読み方や意味、そして文法の解説をしてゆきます。

大前提:

漢文＝中国語

(昔の書き言葉)

日本語と文法が違う。ただし、日本語のなかにはたくさんの「漢語」が含まれています。

||

「読書」・「習字」などなど



今回は、この作品を
見てゆきます。



この作品には、12文字の漢字が書かれています。

漢文は本来、点・丸などの符号が一切なく、ただ漢字が並んでいるだけです。

まず、この作品を活字に直してみましょう。



龍 向 池 中 躍 起 鳳
從 天 外 飛 來

次に、この漢文に点・丸を入れ、意味の切れるところで改行してみます。

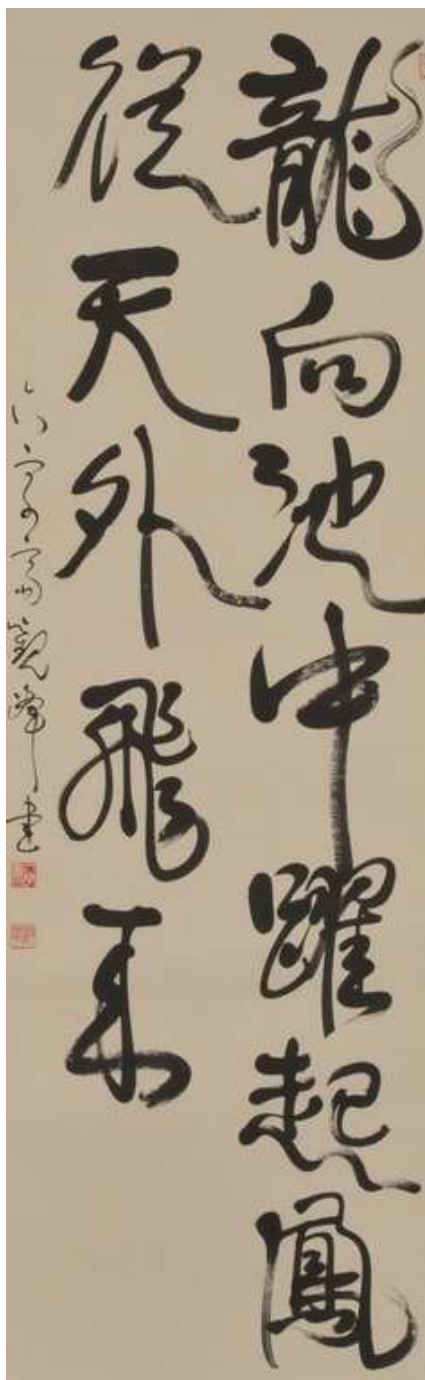


龍 向 池 中 躍 起、
鳳 従 天 外 飛 来。

6文字の2句で構成されていることがわかります。

10・12・14文字の作品は、5・6・7文字2句であることがほとんどです。

では、返り点を入れてみます。



鳳^ハ從^リ天^ニ外^ニ飛^ス來[。]
龍^ハ向^ヒ池^ニ中^ニ躍^リ起^シ、

返り点：

中国語の語順である漢文を日本語の語順で読むための記号。「レ点」「一ニ点」「上下点」など。右側は送り仮名。

次に、書き下し文にします。



書き下し文:

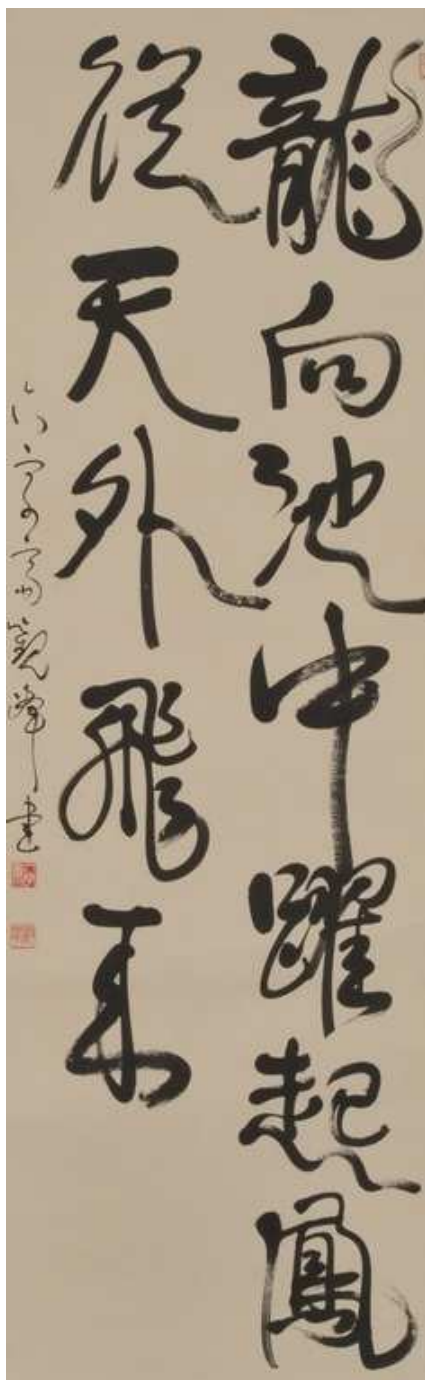
日本語の語順で書いた文(古文)。

※従=より

伝説の聖獣である龍や鳳凰が登場する、おめでたい言葉です。

龍^{りゅう}は池^ち中^{ちゆう}に向^{むか}ひて躍^{やく}起^きし、

鳳^{おおとり}は天^{てん}外^{がい}より飛^ひ来^{らい}す。



龍^{りゅう}は池^ち中^{ちゆう}に向^{むか}ひて躍^{やく}起^きし、
鳳^{おおとり}は天^{てん}外^{がい}より飛^ひ来^{らい}す。

現代文：

龍は池の中に躍^{おど}
り上がり、

鳳凰は空から飛
び来る。

つづいて文章
構造をしてみま
す。



鳳 = 龍 主語 (聖獸の名前)

從 = 向 前置詞 (動作の方向)

天 = 池 目的語 (場所)

飛 = 躍 動詞 (動作)

きれいな「^{ついく}対句」です。

夕日 朝陽
向 従
西山 東海
落 昇、

「**対句**」を応用
すると、このよ
うな漢文も作れ
ます。

左右を見比べ
て、意味を考え
てみましょう。

夕日せきじつは西山せいざんに向むかひて落おつ。
朝陽ちやうやうは東海とうかいより昇のぼり、

夕日 = 朝陽
向 = 従
西山 = 東海
落 = 昇

主語(天象)

前置詞(動作の方向)

目的語(場所)

動詞(動作)

左右の構造が全く同じです。



龍向池中躍起、
鳳從天外飛來。

→ 自？

ちなみに、「向」
はもともと「自(=
従・より)」だった
可能性があります。



現代文：

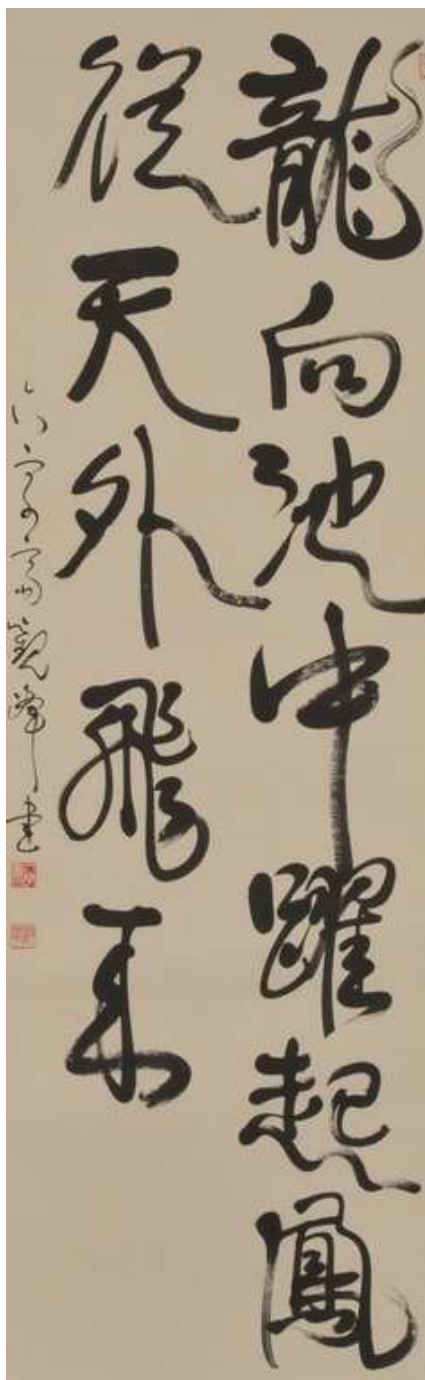
龍は池の中から
躍り上がり、

鳳凰は空から飛
び来る。

この方が意味
がすっきりします。

龍^{りゅう}は池^ち中^{ちゅう}より躍^{やく}起^きし、

鳳^{ほう}は天^{てん}外^{がい}より飛^ひ来^{らい}す。

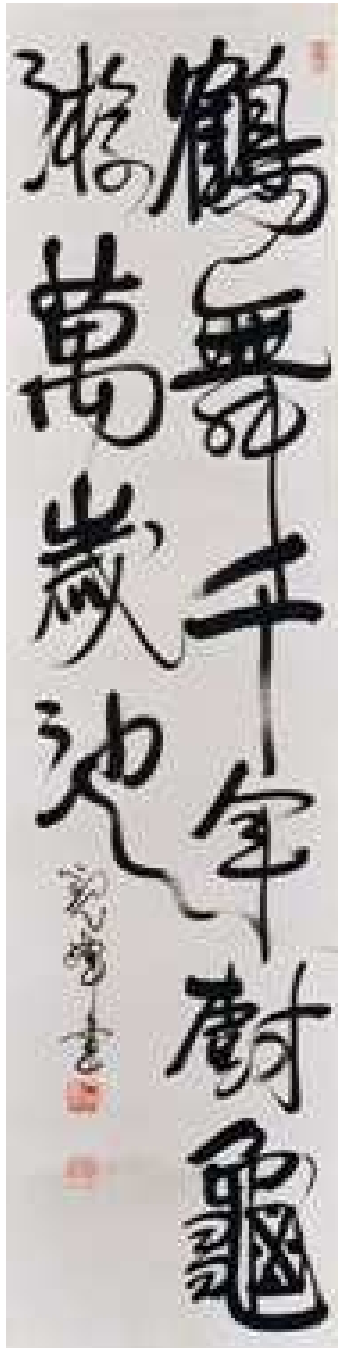


龍向池中躍起、
鳳従天外飛来。

宇山栖霞編
『現代墨場必携』
(全日本書道院
昭和47年)が
出典と思われま
す。

おさらい:

- 10・12・14文字の作品は、5・6・7文字2句の可能性あり。
- 2句の左右をよく見比べて、「対句」表現を探す。



游 鶴
万 舞
歲 千
池 年
樹
龜

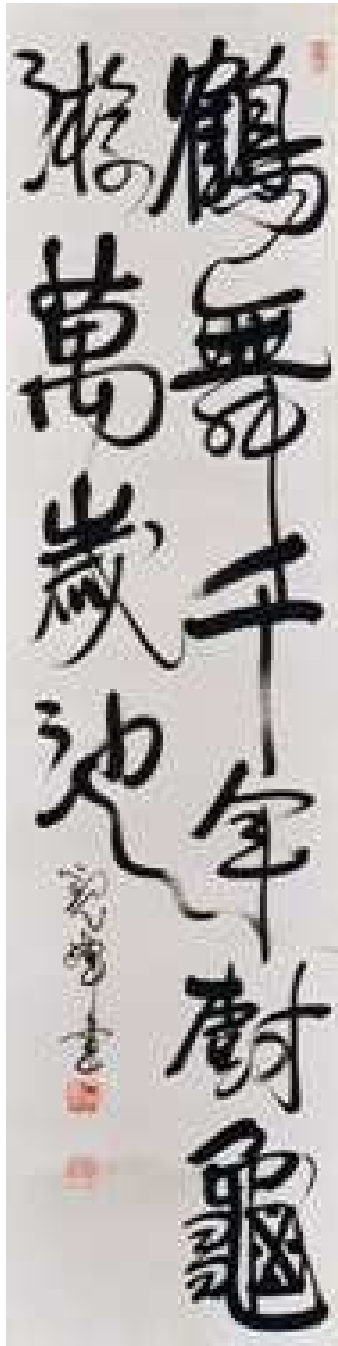
最後に問題を一つ。
「**対句**」を意識して、
左の漢文の意味を考えて下さい。

ヒントは全部で**10文字**。
「游」は「遊」と同じです。

回答は、のちほど
メールにてお送りい
たします。

ご感想等ございましたら、お申込みいた
だいた「問い合わせ
メールフォーム」まで
お寄せください。

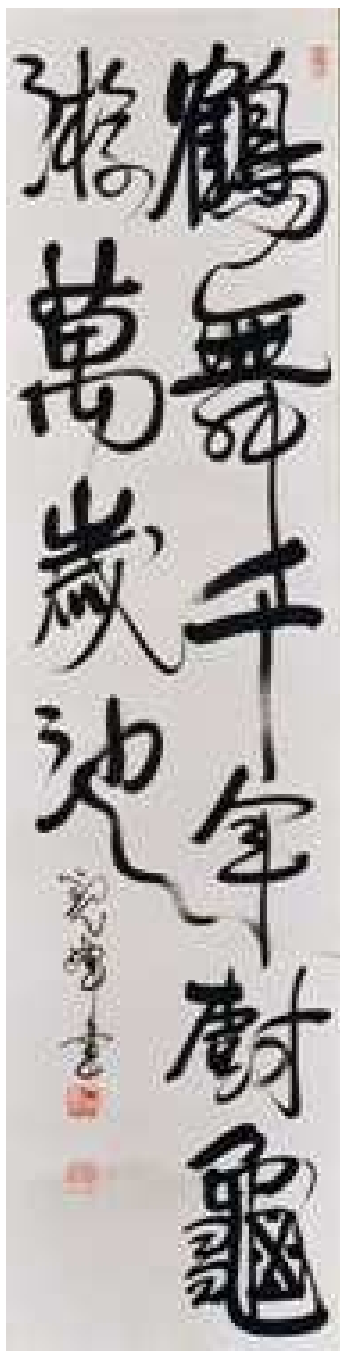
鶴舞千年樹亀
游万歳池



ありがとうございました。

公益財団法人日本習字教育財団
観峰館

オンライン講座回答編



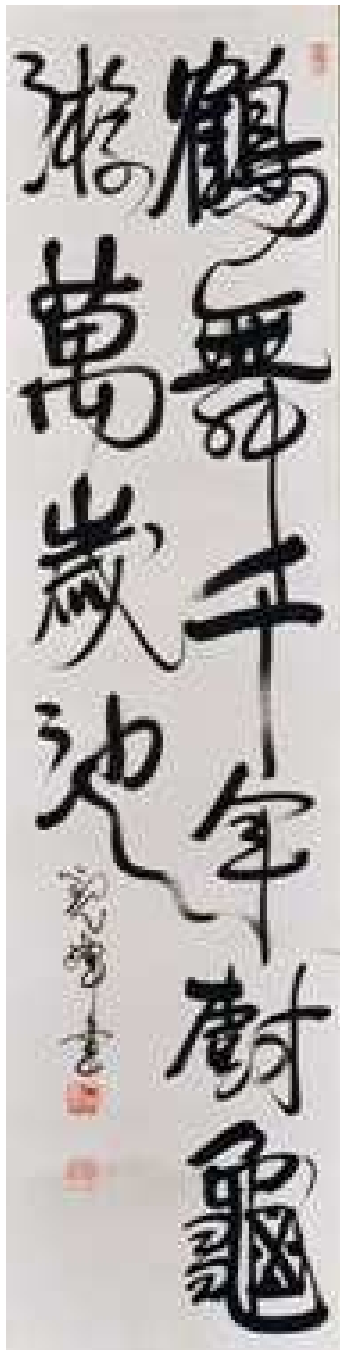
鶴舞千年樹龜
池 萬歳池

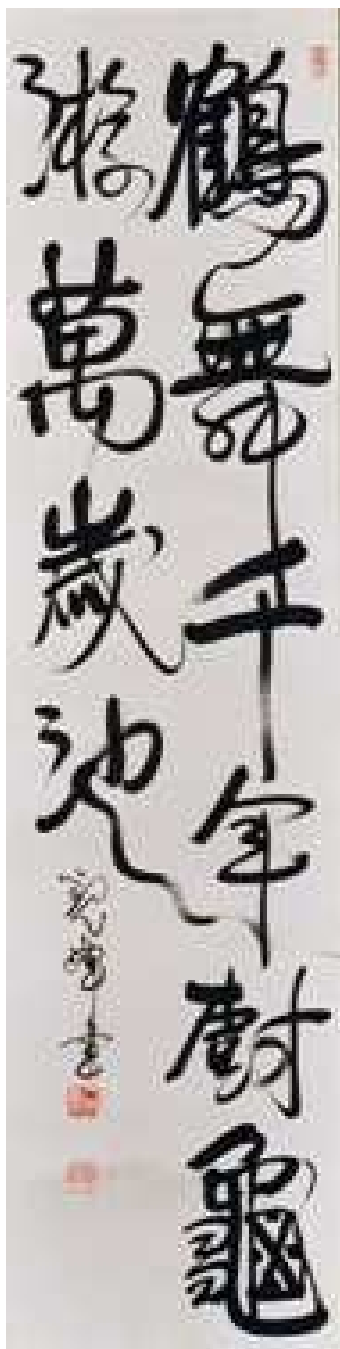
問題の回答です。

全部で**10文字**です
ので、**5文字の2句**に
なります。

では、返り点と送り
仮名を振ってみましょ
う。

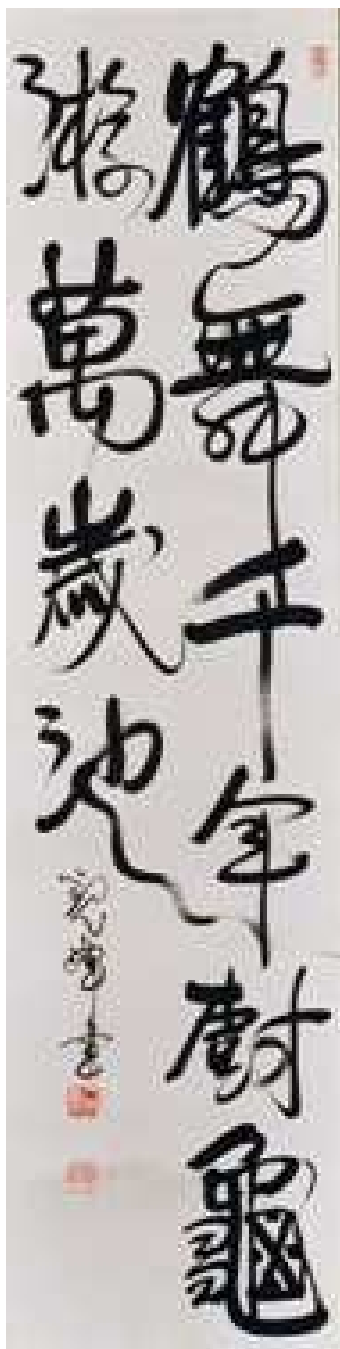
鶴舞千年樹、
亀游万歳池。





鶴^ハ舞^ヒ千^ニ年^ヒ、
樹[、]
亀^ハ游^ブ万^ニ歳^ヒ、
池[、]。

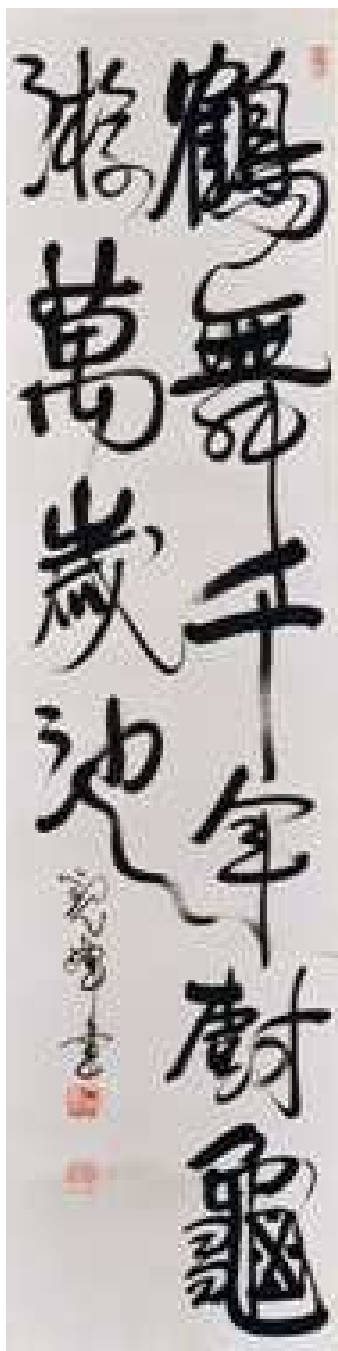
次に、書き下し文に
します。



鶴^{つる}は^{せんねん}千年の^き樹に^ま舞ひ、
亀^{かめ}は^{ばんざい}万歳の^{いけ}池に^{あそ}遊ぶ。

「鶴は千年、亀は万年」にちなんだ、不老長寿を願うおめでたい言葉です。

つづいて文章構造を見ます。



亀 = 鶴

主語(めでたい動物)

游 = 舞

動詞(動作)

万 = 千

目的語(年数+場所)

歳 = 年

池。 樹、

きれいな「**対句**」です。

ありがとうございました。

公益財団法人日本習字教育財団
観峰館